

1 女性に魅力ある職場の創出事業(進出企業誘致事業) (案)

事業費： 16,988千円

産業振興課

【資料1-2 No.1】

事業の立案背景

- ものづくり産業の集積を強みとし、転入人口による自然増に支えられてきたが、直近4年間では若年女性が2,743人市外へ流出しており、今後も自然増は見込めない状況。
- 主要産業の特性として、本市は女性が少なく、男性が多い人口構成であり、特に正規雇用の女性割合は男性に比べて26.8%と極端に少なくなっている。
- 地域産業の持続的な成長のため、若者・女性の市外転出や多くの分野での人材不足等といった、本市を取り巻く環境変化への的確な対応と将来のまちづくりを見据えた挑戦を進める。

事業概要 (ポイント)

本事業は、産業別雇用者数における女性比率の増加が高い業種の誘致と、事業所の受皿を確保するため中心市街地におけるオフィススペースの供給を促進するもの。

実施項目

- (1) 専門フェローの登用、課題整理
- (2) 女性就業率の高い業種を対象にした進出意向調査 (1回)
- (3) 中心市街地における空きオフィス調査 (1回)
- (4) 企業訪問 (随時)
- (5) その他

【考えられる要因】

★ 女性の働きたい仕事がない・少ない

★ 製造業という職種のイメージが強い

働くことの価値観の変化
(福利厚生重視、終身雇用ではなくステップアップ)

中小企業で働く女性のロールモデルがない

女性も男性と同じ職場で働ける環境にする
という雇用側の意識の欠如

安心して住める賃貸住宅がない

2 貞宝地区産業用地整備の推進（案）

事業費：9,548千円

産業振興課

【資料1-2 No.2】

豊田貞宝次世代産業地区用地造成事業（事業主体：愛知県企業庁）

■トヨタ自動車(株)新工場建設計画発表(R7.8)

- ・貞宝町周辺(約142ha)に車両工場を新設
- ・2030年代初頭の稼働開始を目指す
- ・国内生産300万台体制の維持に加え、「未来工場」づくりを進める

■市の取組、役割等 ※現在の取組状況

- ・市内横断的に計71名の「事業推進チーム」発足
- ・地権者同意取得、関係機関調整を迅速に進める
- ・地域の理解を得ながら事業を円滑に推進する



※当該区域は、今後検討を進める中で変更となる可能性があります。

➡ 本市産業基盤の更なる強化へ大きく寄与

雇用や消費など本市経済や地域の活性化のほか、周辺の企業立地や幹線道路整備の促進などへの波及効果を期待

令和7年

2030年代初頭

用地取得

測量・設計

環境影響評価

造成工事

土地引き渡し

建築工事
【トヨタ】

新工場稼働

3 中小事業所等LED照明器具更新費補助事業

事業費：135,000千円

産業振興課

【資料1-2 No.3】

事業の立案背景

- 2027年末に蛍光灯の生産等が終了。照明のLED化に取り組んできたが、予想を上回る物価高騰と、人件費や借入利息の上昇により、計画的に進んでいない。
- 「ものづくり中小企業者実態調査」において、約4割の事業者が照明のLED化完了済みと回答する一方で、**小規模な事業所では、約2割が未着手**と回答。
- 産業部門の年間CO₂排出量は2021年度からの1年間で減少しているが、ベンチマークである**2029年度における「2013年度比 マイナス47パーセント」達成は難しい状況**。

事業概要（ポイント）

本事業では、**事業所内の既存照明のLED化への更新を支援し、事業に係る経済的負担を緩和**する。また**新たに脱炭素経営に取り組む事業者の増加を図る**もの。

実施項目（補助内容）

補助対象：全業種の中小事業者
補助率：1／2 補助上限額：300万円
対象事業：店舗、事務所、工場など屋内の既存照明設備を
エネルギー効率の高い**LED照明へ更新する事業**

産業振興プランにおける注視する指標 （アウトカム）

指標	産業部門の年間CO ₂ 排出量の推移 (製造業、農林水産業、鉱業、建設業)
出典	豊田市環境報告書
基準値	1,919,785t(2013年度) 1,427,041t(2021年度)
目標	2029年度において 2013年度比 -47% ※1,017,486t相当
最新値	1,157,204t(2022年度)

4 若年者人材確保・育成事業（若年層地域就職促進調査）

事業費：8,969千円

産業人材活躍課

【資料1-2 No.4】

事業の立案背景

- ▶ 地域企業における人材確保が深刻な課題となっており、**高卒、大学等の新規採用は売り手市場の影響を受け、応募者数の減少や早期離職の増加**が顕著である。
- ▶ 市内企業からのヒアリングやアンケート調査においても、「新卒採用が難しい」「採用しても定着しない」といった声が多く寄せられており、従来の採用支援策だけでは十分な効果が得られていない状況である。
- ▶ 一方で、卒業後に未就業のままの若者や早期離職を経験した**第2新卒層、さらにはU30（30歳未満）層の中には、地元での再就職や生活の再構築を希望する潜在的な人材が存在**する。特にU30層は、転職・結婚・出産・育児などライフイベントを契機に地元回帰を検討するタイミングであり、アプローチすべき重要な層である。こうした背景を踏まえ、本事業では**第2新卒・U30層を対象とした調査および試行的な支援施策を実施**し、今後の人材確保・定着支援の方向性を明らかにすることを目的とする。

事業概要（ポイント）

本事業では、第2新卒・U30層という潜在的な人材セグメントに対し、地元企業との新たな接点を創出し、相互理解を促進することを目指す。**若者が「地元で働くこと」を前向きに選択できる環境を整備**するとともに、企業側の受け入れ体制の強化を図る。調査と試行施策を通じて、このセグメントに対する**有効なアプローチ方法や支援の打ち手を見極め、今後の人材確保・定着支援に資する施策モデルの構築**につなげる。

実施項目（委託内容）

（1）意識調査の実施

- ・若年層（未就業者、離職者、転職希望者等）へのアンケートやインタビューなど

（2）試行施策の実施

- ◆ 地元企業での職場体験プログラム（例、1日見学・業務体験ツアーなど） ◆ 企業向けの若年層理解促進セミナーやワークショップ ◆ 若年層と企業との座談会 など

（3）施策提案

- ・調査結果の集計・分析及び試行施策の評価を踏まえた次年度以降の施策提案 など

若者



豊田市で働きたいと思ってもらう

5 多様な人材活躍推進事業（（仮称）DE&I推進協議会の運営）

事業費：9,105千円

産業人材活躍課

【資料1-2 No.5】

事業の立案背景

- ▶ 近年の労働力人口の減少や人材確保の困難化が、地域産業の持続性に影響を及ぼす重要な課題となっている。特に製造業を中心とした産業構造を有する本市においては、**主要産業における男性比率が高く、女性の正規雇用率も出産や育児を契機に大幅に低下している。**
- ▶ また、少子高齢化、外国人労働者の増加、障がい者法定雇用率の引上げ等を背景に、**年齢・性別・国籍・障がいの有無に関わらず、多様な人材**が働く環境整備DE&I (Diversity, Equity, Inclusion) の推進が求められている。これらの活動は、従業員の定着率向上、組織の柔軟性・創造性の向上、企業価値の向上に資する経営戦略として注目され、**DE&Iに積極的に取り組む企業ほど、業績や人材確保において優位性が高まると**されている。

事業概要（ポイント）

本事業では、**企業等との連携を図りながらDE&Iの理解促進と実践支援を目的とした官民連携協議会を設立し**、地域全体での意識醸成と環境整備を推進する。

協議会の役割&実施事項

- ① 企業における現状及び課題の可視化、② 働きがいのある職場の支援、③ 多様な人材の活躍促進、④ 地域全体の意識醸成&意識変革、⑤ 施策の事例共有&実践 など

R 8	R 9 ~
<ul style="list-style-type: none">○協議会の設置（年3回）<ul style="list-style-type: none">・現状課題の可視化・推進のあり方や方策の検討○既存取組の整理	<ul style="list-style-type: none">○協議会の推進○既存取組の整理・評価<ul style="list-style-type: none">・働き方改革及びイキイキ表彰等○新規取組の立案



6 STATION Ai 活動実績

事業費： 8,431千円

次世代産業課
(未来都市推進課)

【資料1-2 No.6】

STATION Ai

- 2024年10月に名古屋市鶴舞に開業した日本最大級のオープンイノベーション拠点
- 会員向けオフィスの提供や新規事業創出の支援、スタートアップ企業の創出育成およびオープンイノベーションの促進を目的に様々な支援サービスを提供
- 約1000社（スタートアップ600、事業会社400）の国内外のスタートアップ企業、パートナー企業、VC等の支援機関や大学等がSTATION Aiに参画（トヨタ、大豊工業、豊田鉄工、新明工業、明和eテック、ZENTなど）

豊田市は、市内ものづくり企業等の新事業展開や先進実証の誘致等による地域活性化に向け、STATIONAiで活動するスタートアップ企業等との連携強化するため2025.2月に入居

はじめるとよた

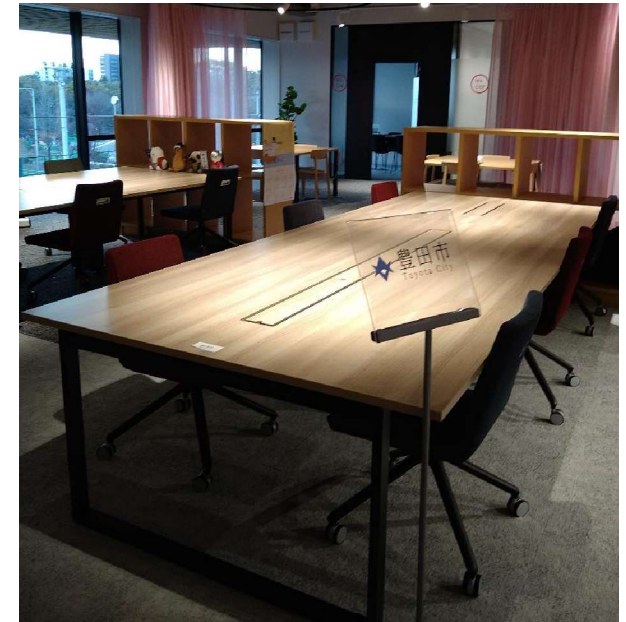
豊田市で起業や先進実証などに挑戦したいスタートアップや企業の相談窓口として、次世代産業課と未来都市推進課で2025.2月に設置

- (主な支援内容) ①起業・経営相談 ②活動・交流支援 ③育成プログラムの提供 ④試作開発支援
⑤マッチング支援 ⑥先進実証の支援 など

活動実績 (12月末)

- コンタクト（名刺交換、相談、壁打ち、メンタリング等） 819件
- マッチング（STAi入居企業と市内企業または市役所各課の引き合わせ） 213件
- 成約（契約、試験導入、実証実験、つながる実証推進協議会入会） 10件
 - ・介護事業所で学生が行うレクリエーション
 - ・介護記録を音声認識で自動作成するAI「ながらかいご」
 - ・学生の活動を寄付で応援する「GivingCampaign」
- イベント実施（オフィスパワー、つながる実証推進協議会総会、ミートアップ等） 6件

STATION Ai



7 ものづくりイノベーション創出補助金

事業費： 88,000千円

次世代産業課

【資料1-2 No.7】

事業の立案背景

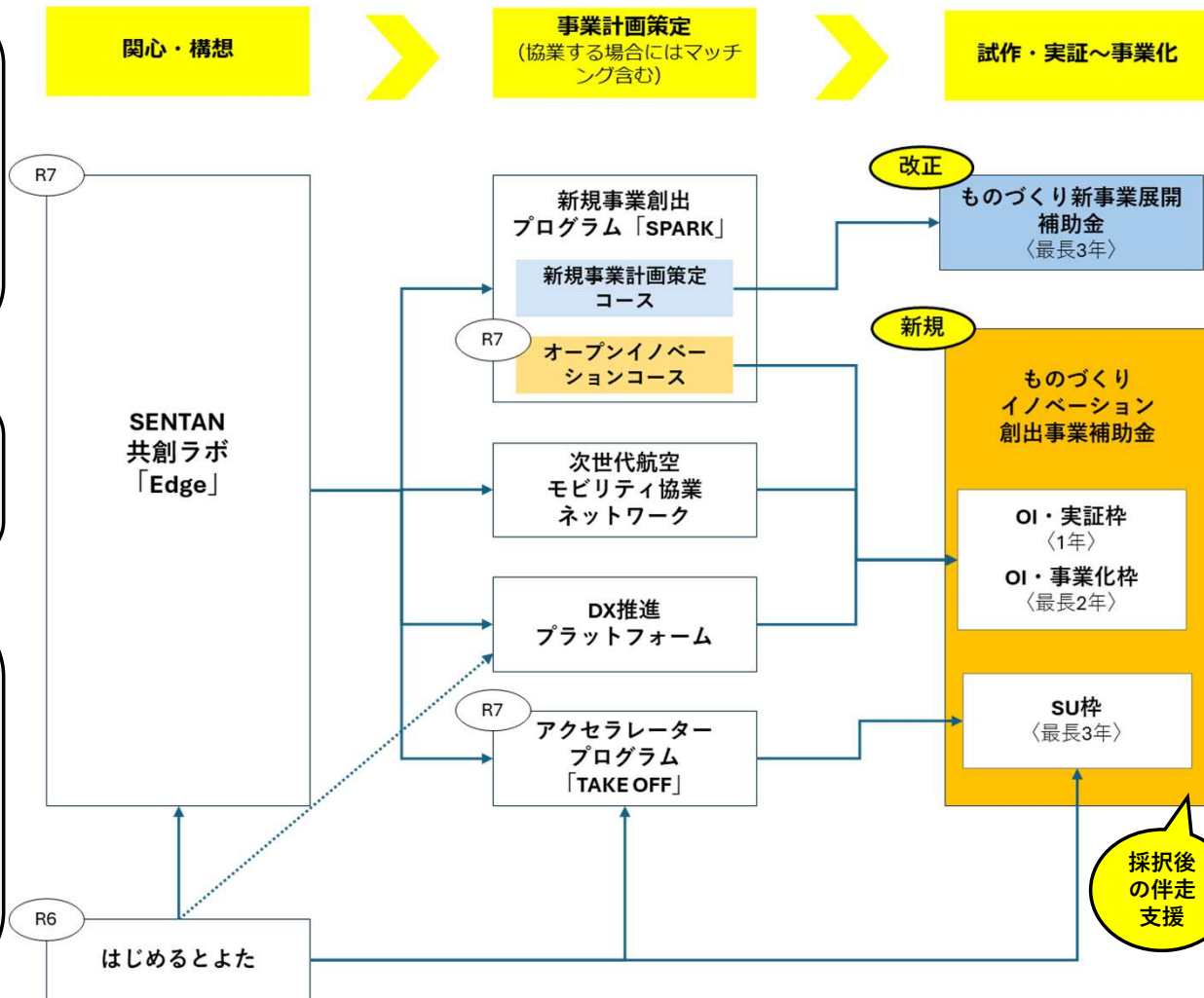
- ▶ 市内からスタートアップが出現し、オープンイノベーションの取組が進み、着実にプレイヤーが増えている。
- ▶ 本市のスタートアップは少数精鋭で、ものづくり分野の事業が多い。
- ▶ 人手不足（リソース不足）の状況下においては、オープンイノベーションの手法は特に有効である。

事業概要（ポイント）

本事業では、**市内スタートアップによる新規事業創出、市内企業とスタートアップによるオープンイノベーションを支援**するもの。

実施項目（補助内容）

- （1）オープンイノベーション・実証枠＜補助率4/5、上限額200万＞
市内企業とスタートアップの連携による新規事業の実証を補助
- （2）オープンイノベーション・事業化枠＜補助率2/3、上限額1,000万＞
市内企業とスタートアップの連携による新規事業の事業化を補助
- （3）スタートアップ枠＜補助率2/3、上限額1,000万＞
本市で起業予定または起業直後の企業が行う新規事業の創出を補助



8 SENTANメーカーズラボ

事業費： 3,300千円

次世代産業課

【資料1-2 No.8】

事業の立案背景

ものづくりに関心のある新たなプレイヤーに対し、SENTANの設備を活用してアイデアをカタチにするものづくり体験等を提供することで、イノベーション創出の核となる人材を育成・発掘し、SENTAN登録団体を増やし、SENTANエコシステムを活性化することで、本市産業の持続的発展につなげる。

事業概要（ポイント）

- 自身のアイデアをカタチにしたい、ものづくりに関心はあるが、どのように具現化したらいいかかわからない人などを対象に、セミナーやものづくり体験を実施する。
- 実施時期 令和8年7月～11月
- 対象者 15歳以上40歳未満10名程度

具体的な実施内容

- ①キックオフイベントの開催
 - ・自己紹介、自身のものづくりの原点の振り返り など
- ②ミートアップの実施（2回程度）
 - ・1回目：ものづくりの思いへの深掘り、アクションへの準備
 - ・2回目：アイデアの具体化、プロトタイプ制作に向けたレク
- ③プロジェクト・フェアの開催
 - ・制作したプロトタイプの発表、仲間づくり、次ステージへ挑戦

